

委員会審議		令和7年6月16日	
申 請 者		J N P（診療看護師）	川崎 竹哉
1		階段昇降試験による呼吸器疾患症例の酸素化予測精度と安全性の評価	
研究の概要		概要 （１）目的 SCTによるSpO₂、脈拍の変化が、6MWTにおける低酸素血症の予測指標として有用かを検討し、安全性と代替性を評価すること。 （２）対象及び方法 1) 研究デザイン 観察研究、後ろ向き研究 2) 対象 当院呼吸器外来を受診し、SCT及び6MWTの両試験を実施した患者262例 除外基準 ①18歳未満である。 ②酸素投与中である。 ③自立して階段昇降ができない。 ④意識レベルが清明ではない。 3) 調査方法とデータ収集項目 電子カルテ内から、下記の調査項目を収集する。 ①患者背景：疾患名、年齢、性別、身長、体重、BMI ②SCT時の脈拍数、SpO₂、視覚的アナログスケール（VAS : Visual Analogue Scale） ③6MWT時の歩行距離、脈拍数、SpO₂値、Borgスケール値 4) SCTの手順 ①主治医の指示のもと診療看護師が実施する。 ②安静時の脈拍数、SpO₂値を測定する。 ③15段の階段3往復を患者本人のペースで実施し、実施中は脈拍数とSpO₂を測定しながら診療看護師が付き添う。 ④実施後の脈拍数とSpO₂値を確認し、安静時の値まで改善したことを確認し、修了とする。 ⑤6MWT試験の中止基準を参考に、以下の中止基準を設けた１）。 ・ SCT試験前の中止基準 (1) 安静時脈拍数が120bpm/分以上 (2) 安静時SpO₂が88%未満 ・ SCT試験中の中止基準 (1) 自覚症状の出現：強い呼吸困難、胸痛、めまい、失神、歩行困難、発汗、顔面蒼白、 (2) SCT中のSpO₂が80%未満 （３）実施場所及び実施期間 場所：情報収集は院内の電子カルテより実施する。 期間：研究期間：倫理委員会の承認後から2027年3月31日 調査該当期間：2022年11月から2025年5月 データ収集期間：倫理委員会の承認後から2025年10月31日	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された	